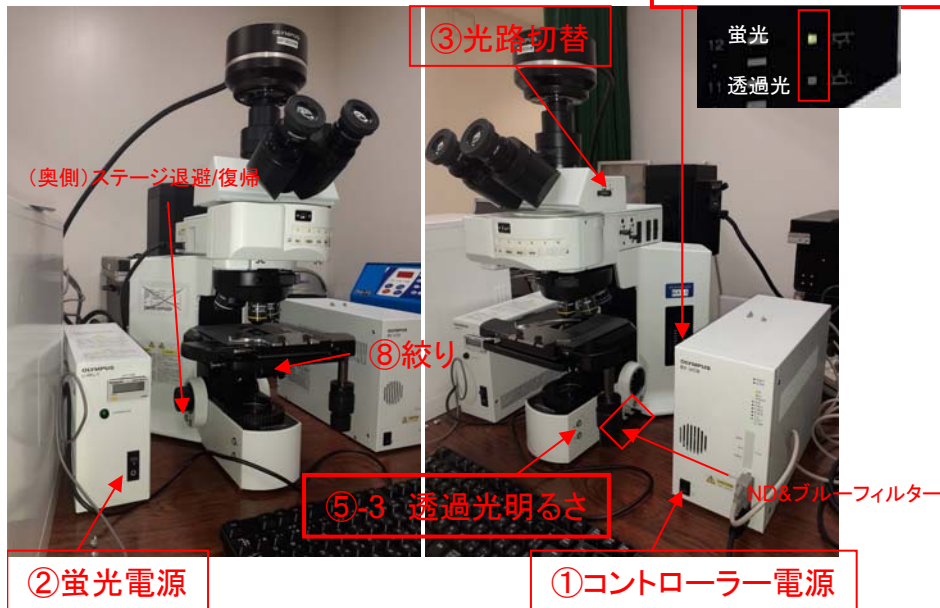


顕微鏡の使い方

Olympus BX61

⑤-1 蛍光/透過切替



ステージXY,フォーカスは手動

目視での観察

1. コントロールボックスの電源を入れる。
2. (蛍光を使う場合) 蛍光電源を入れる。
3. 光路切替レバーを押し込む。
4. 対物切替で任意の対物を選択。
(オイルを使用する場合)
ステージ退避ボタンを押すと隙間ができます。
もう一度ボタンを押すと元の高さに戻ります。
5. 蛍光/透過切替ボタンで照明を選択。
インジケーター 上側が蛍光、下側が透過照明。
(透過の場合)
蛍光シャッターボタンでシャッターを閉める。(インジケーター点灯)
透過光の明るさを調整する。
(蛍光の場合)
蛍光シャッターボタンでシャッターを開ける。(インジケーター消灯)
6. フィルター切替で任意のフィルターを選択。
(明視野観察の場合は空の位置にします)
7. サンプルを乗せ、フォーカスを合わせる。
8. (明視野の場合) 絞りをNAの7割くらいの値に調整する。

対物レンズ一覧

名前	N.A.
1 UPLSAPO 10X	0.4
2 UPLSAPO 20X	0.75
3 UPLSAPO 40X	0.95
4 UPLSAPO 60X O	1.35
5 UPLSAPO 100X O	1.4
6 None	

	照明切替	蛍光シャッター	フィルター
蛍光	上	開(ランプ消灯)	任意
明視野	下	閉(ランプ点灯)	空

蛍光フィルター一覧

名前	
1 DAPI	Ex330-385 DM400 Em420-
2 GFP	Ex470-495 DM505 Em510-550
3 TRITC	Ex530-550 DM570 Em575-
4 FITC	Ex460-495 DM505 Em510-
5 None	
6 None	

終わりの方

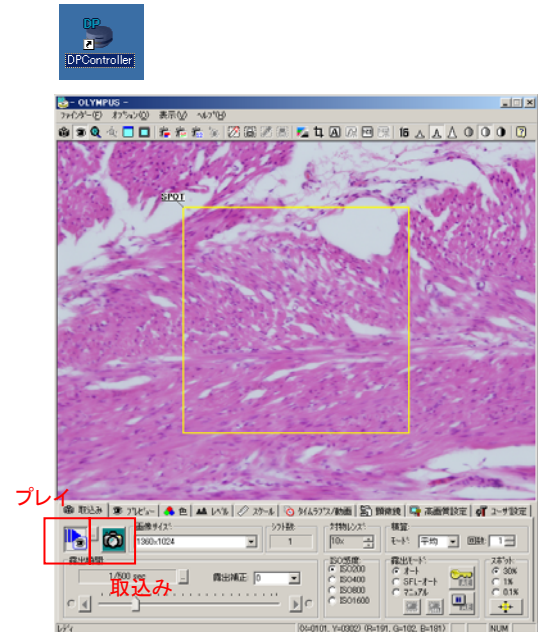
PCを使用している場合は先にPCをシャットダウンしてください。

1. (蛍光を使用した場合) 蛍光電源を切る。
2. (オイルレンズを使用した場合)
レンズクリーニング液を綿棒に染み込ませ、レンズに付いたオイルを拭き取る。
3. コントロールボックスの電源を切る。
4. 使用簿に記録する。

CCDカメラの使い方

Olympus BX61

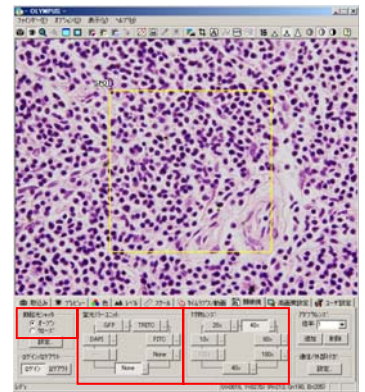
1. PCの電源を入れる。
2. デスクトップのDPControllerを起動。
3. 光路切替レバーを引き出す。
(中間は目視50%/カメラ50%です。
両方見えて便利ですが蛍光灯が映り込むので注意。)
4. 取込みタブを選択。(デフォルト表示)
5. プレイをクリック。
6. 画像サイズ(標準は1360x1024)とISO感度を設定する。
7. 露出モードでマニュアルを選択。
露出時間のバーを手動で動かして明るさを調整する。
(露出時間が分からない時は露出モードを一旦オートにしてみる)
色味がおかしい時はホワイトバランス、ブラックバランスを調整する。
8. 画面を見ながらフォーカスの調整を行う。
9. 取込みボタンをクリックし、撮影する。
10. DPManagerに撮影した画像が表示されるので
ファイル名前を付けて保存で保存する。



ハンドスイッチがわかりにくい方はDPControllerから制御もできます。
顕微鏡タブを選択。

励起光シャッターで蛍光シャッターの制御、
蛍光ミラーユニットで蛍光フィルターの切替、
対物レンズで対物レンズの切替ができます。

照明の切替は顕微鏡本体でのみ可能です。
※赤枠以外は触らないでください。



その他の機能

ホワイトバランス(明視野)、ブラックバランス(蛍光)

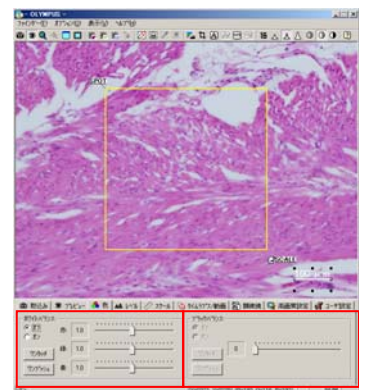
1. 色タブを選択。
2. ホワイトバランスまたはブラックバランスをオンにする。
3. ワンタッチをクリックし、プレビュー内の
白くまたは黒くしたい部分をドラッグする。
4. オフを選択すると調整が解除される。

スケールバー

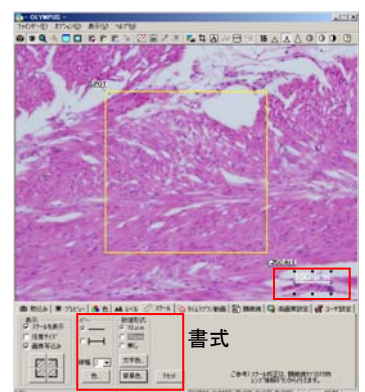
1. スケールタブを選択。
 2. スケールを表示にチェック。
 3. 書式を選択。
 4. 画面上のスケールの長さをドラッグして調整する。
 5. (画像に取込みたい場合)
画像写込みにチェックを入れ、取込みタブの取込みボタンで撮影する。
- ※書き込まれたスケールは後から削除はできません。

条件の保存

1. ユーザー設定タブを選択。
2. 保存で条件ファイルを保存する。
条件ファイルを使用する時は読み込みから行う。



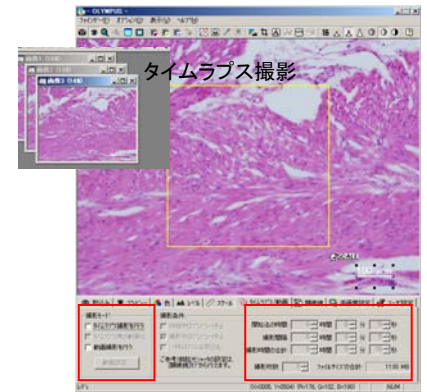
初期値は全て1 初期値は0



その他の機能

タイムラプス(等間隔撮影)

1. タイムラプス/動画タブを選択。
2. タイムラプス撮影を行うにチェック。
3. 撮影間隔、撮影枚数を設定する。
4. 取込みタブの取込みボタンをクリックすると順次撮影されます。
(画像は連番が付いて撮影されます)
タイムラプス画像を動画として保存したい場合は、撮影前に
タイムラプスの動画化にチェックを入れ、取込みをクリックする。



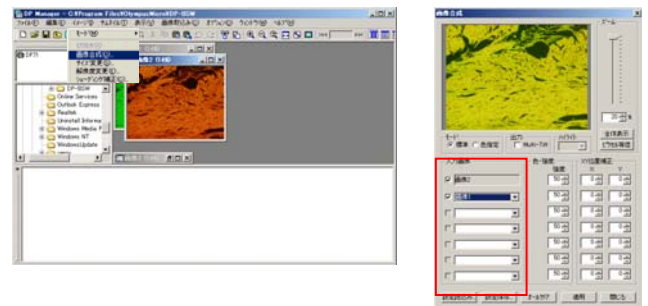
動画撮影(リアルタイム撮影)

1. タイムラプス/動画タブを選択。
2. 動画撮影を行うにチェック。
3. 撮影時間の合計を設定する。
4. 取込みタブの取込みボタンをクリックすると動画撮影されます。

どちらの動画撮影も動画設定で
動画の形式を選択してください

画像のオーバーレイ

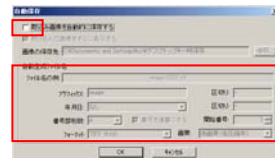
1. 重ね合わせたい画像全てをDPManagerで開く。
2. イメージ-画像合成
3. 入力画像で重ね合わせる画像を選択。
必要に応じて色・強度を調整する。
適用をクリックするとオーバーレイ画像が作成される。



画像の自動保存

※DPController起動前に設定してください。

1. デスクトップのDPManagerを起動。
2. 画像取込み-自動保存
3. 取込み画像を自動的に保存するにチェック。
画像の保存先を指定。
自動生成ファイル名の欄でファイル名、画像フォーマットを設定する。
4. OKをクリック。DPControllerを起動し、通常通り撮影する。



撮影終了後は自動保存の設定を解除してください。